

令和5年度 センター研究 音楽・図工・美術グループ

ICT活用を活用した 図画工作・美術の授業づくり

一人一台端末を使った題材例 (作品制作の補助としての活用)

ICTの活用について

教育・学習におけるICT活用の特性・強み (GIGAスクール構想仕様において活用できるソフト・機能(例))

1人1台端末、高速大容量の通信ネットワーク環境下におけるICT活用の特性・強み	ソフト・機能
<p>①多様で大量の情報の取扱い、容易な試行錯誤 (例)プログラミングにおける試行錯誤の繰り返しなど 論理的思考・課題解決</p>	<p>ウェブブラウザ、文書作成、プレゼンテーション、プログラミング</p>
<p>②時間的制約を超えた情報の蓄積、過程の可視化 (例)写真・動画の撮影・保存による学習過程の可視化による学習の振り返りや目標設定への反映</p>	<p>(①のソフト・機能に加え、)クラス管理、写真・動画撮影・編集・保存</p>
<p>③空間的制約を超えた相互かつ瞬時の情報の共有(双方向性) (例)ウェブ会議機能、ファイル共有機能等による学校と家庭他の学校・地域や海外との交流のような距離が離れた場をつないだ学習、他者との意見共有</p>	<p>(①のソフト・機能に加え、)コメント、アンケート、チャット、電子メール、ウェブ会議、ファイル共有</p>

令和3年(2021)6月「GIGA StuDx 推進チームの取組について 新学習指導要領とGIGAスクール構想の関係」を参考に作成

ICTの活用について

題材のねらいに応じて吟味し、効果的な指導を行うことが重要

A表現

表現の可能性を広げるために、ICTの特質を生かした活用を行う。

ICTによる表現の特長

- ・何度でもやり直しができる
- ・取り込みや貼り付け
- ・形の自由な変形
- ・配置換え、色彩換え

構想の場面での様々な試しができる。

B鑑賞

実物と直接向かい合い、作品のもつよさや美しさについて実感を伴いながら鑑賞することが望ましい。

困難な場合は、ICTを活用して画像や映像を使ったり、ネットワークを活用したりして、効果的に鑑賞指導を進める。

「主体的・対話的で深い学び」の視点からの 授業改善

小学校学習指導要領 第7節図画工作 第3 指導計画の作成と内容の取扱い
1 指導計画作成上の配慮事項(1)

題材など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、児童の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。

その際、造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習の充実を図ること。



ICTを活用した授業でも、この視点が大切



* ピクトグラムの制作

- 形の簡略化
- 形の配置
- 色の組み合わせ

アイディアスケッチの段階で
Googleスライドを活用して
デザインを考える。

『Google スライド』の活用



ピクトグラムの 作成

発想、構想の場面で
形や色の組み合わせを
考えながらデザインを決
める。



ピクトグラムで
校内表示を作ろう

- ・各教室の表示
- ・案内表示
- ・生活の注意喚起

簡単な形や色で伝えるデザインを
考えよう

『Google スライド』の活用



『伝える相手や場面などに応じて、より効果的に伝えるためには何が大切か』を考える

簡単な形の組み合わせで考えることで、デザインの簡略化を図る。

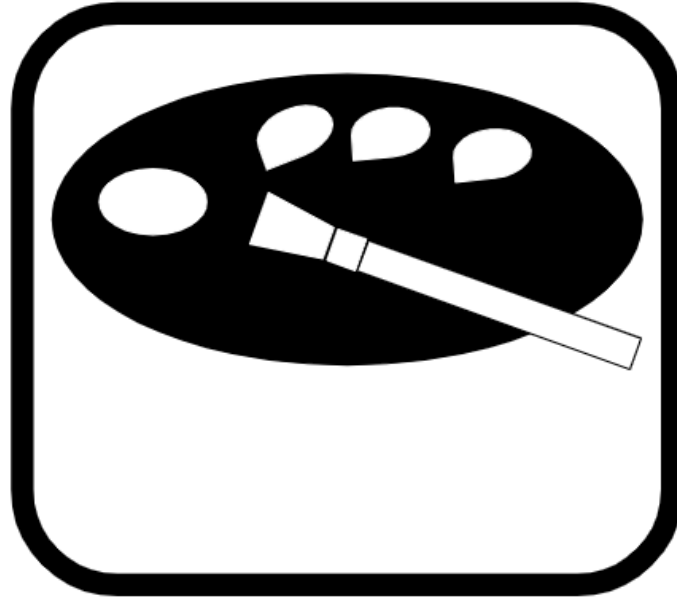


『Google スライド』の活用

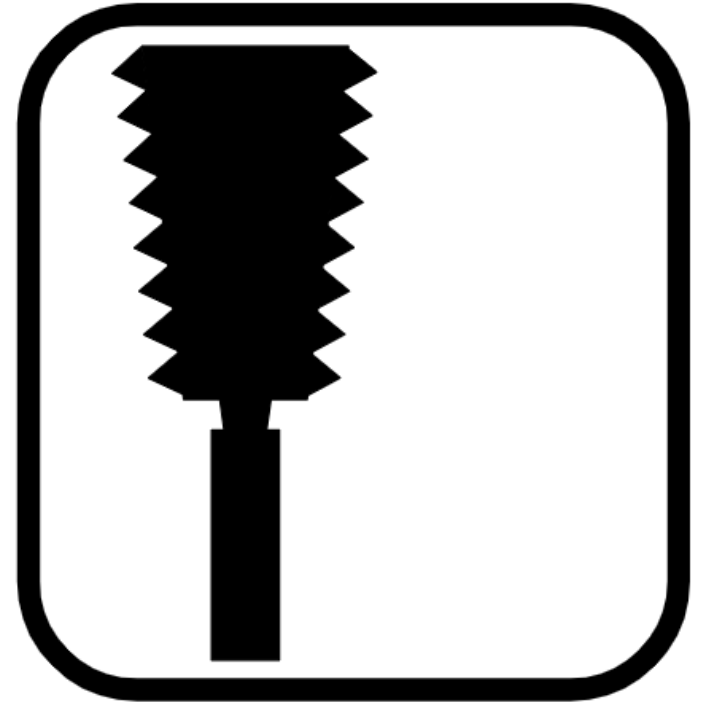


単色での作成例

単色での作品制作



美術室



技術室

『Google スライド』の活用

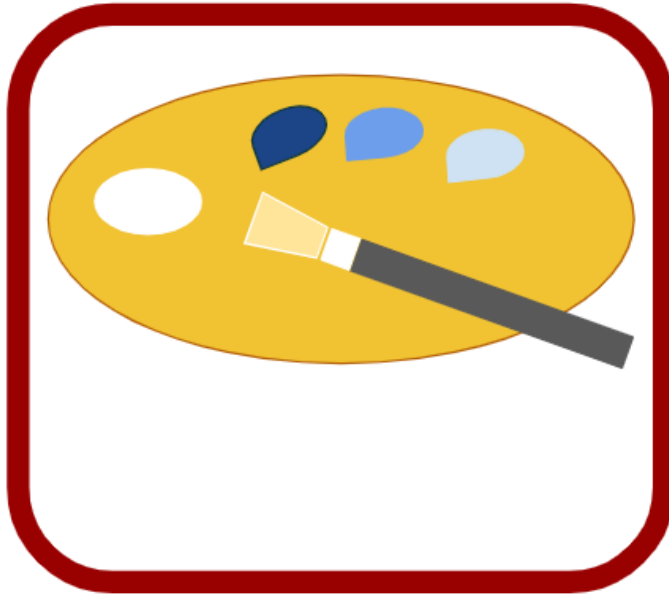


カラーへ色の変更

『塗りつぶし』のツールで、自由に色の組み合わせや、伝わりやすい色の選択をする

色鉛筆を使って配色の計画をするよりも、簡単にいろいろな色の組み合わせを考えることができる。

色ありでの作品制作



美術室



技術室



* 色を重ねてみよう

- 色を重ねた時の変化
- 色の並び
- 色の組み合わせ

Googleスライドの図形を重ねて、色や形の変化を楽しむ。

『Google スライド』の活用



色の透明度を
50%に指定



一般的に授業で使われる
カラーフィルムの代わりに
画面上の図形を使う。

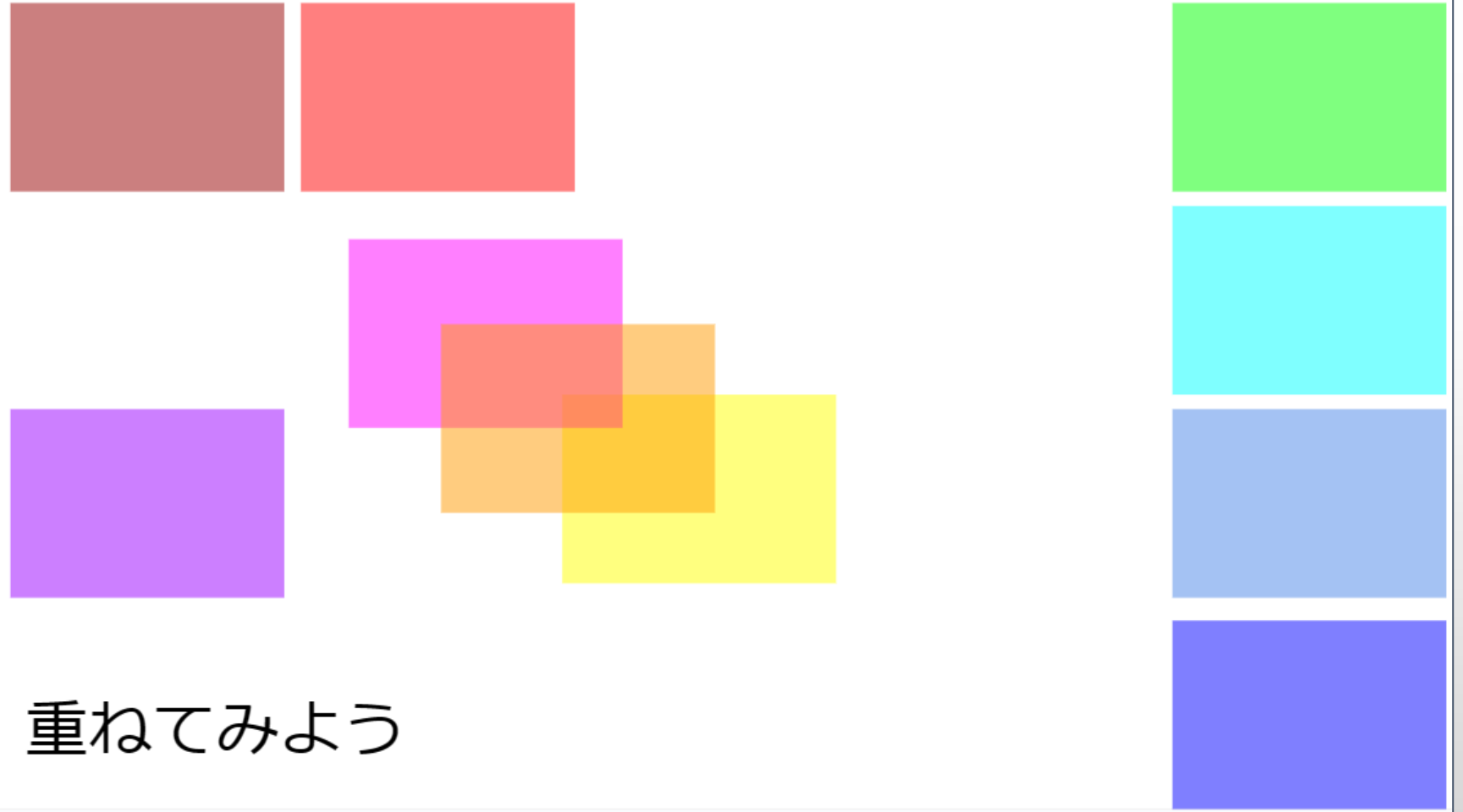
重ねてみよう

『Google スライド』の活用



- ・色を並べる
- ・重ねてみる

カラーフィルムを使う
作品作りの前に、
Googleスライドの画面
上で、色の重なり具合を
試すことができる。



重ねてみよう



* 模様づくり

- 形の面白さ
- 形の並べ替え
- 包装紙などへの利用

カメラで撮影した画像を取り込み、並べることで模様を作る。

『Google スライド』の活用



画像の挿入

身の回りの物や
自分で描いた図案など
を写真撮影し、
Googleスライドの画面
に貼り付ける。

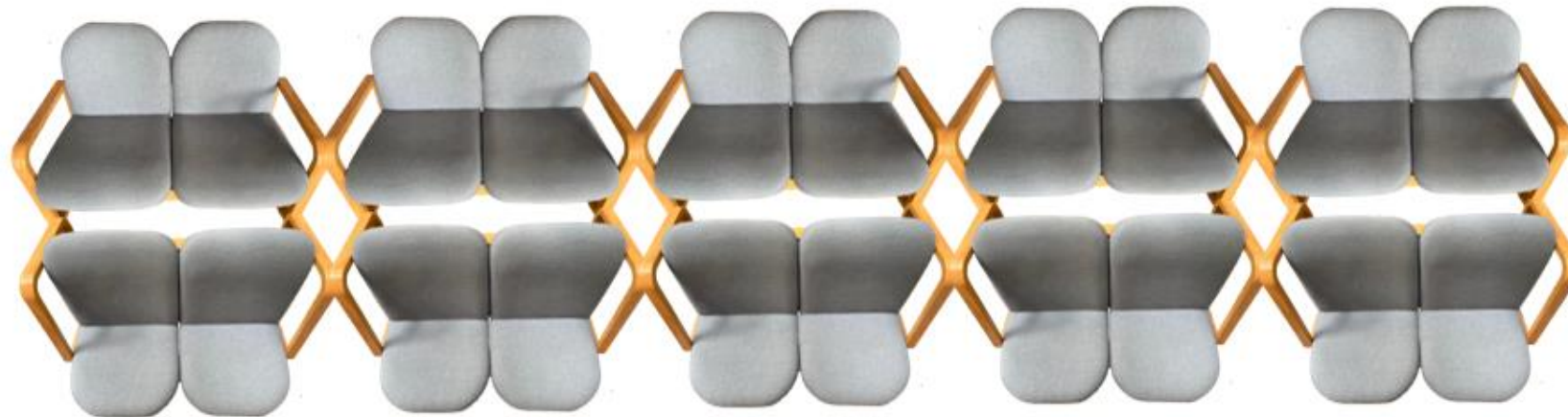
文様づくり



『Google スライド』の活用



画像を回転させる
などして並べる



大量にコピー、
貼り付けをすること
ができる。

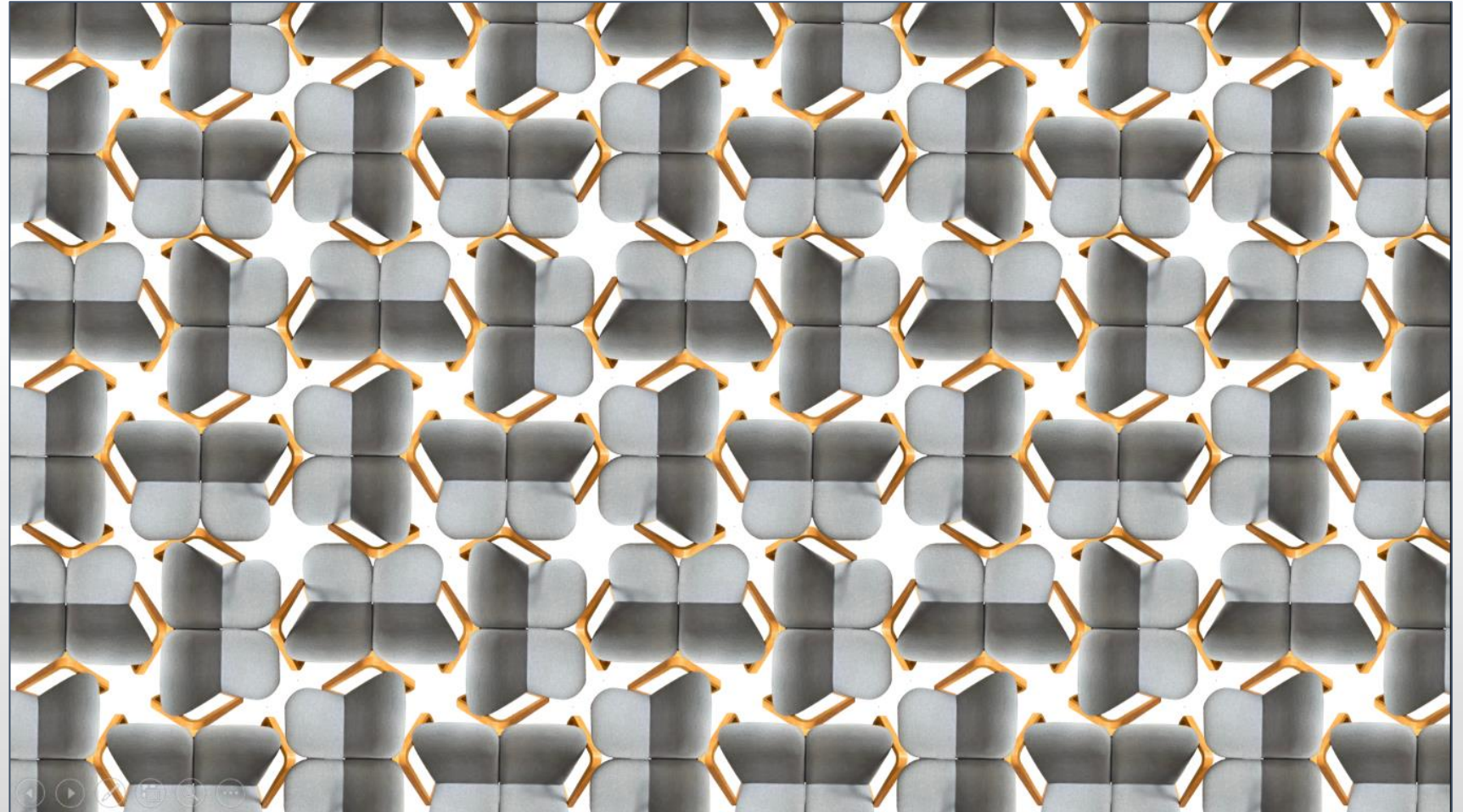


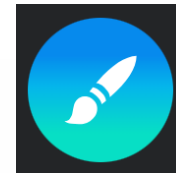
『Google スライド』の活用



一面に並べてみると、違う見え方、違う形が見えてくる。

手描きで同じ形を描かなくて済む。
壁紙、包装紙、手ぬぐいのデザインなどに活用できる。





* 配色計画の難点

ポスター作品や
平面構成作品など

- 色鉛筆の色数に限定
- 消しづらい
- 色の組み合わせが
考えづらい

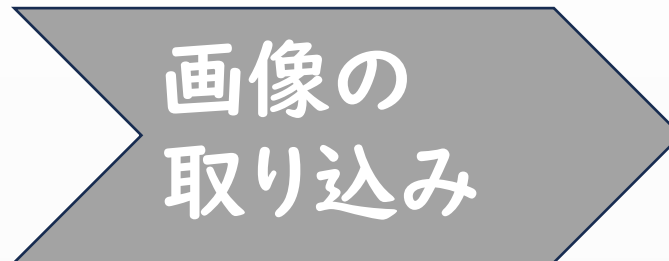
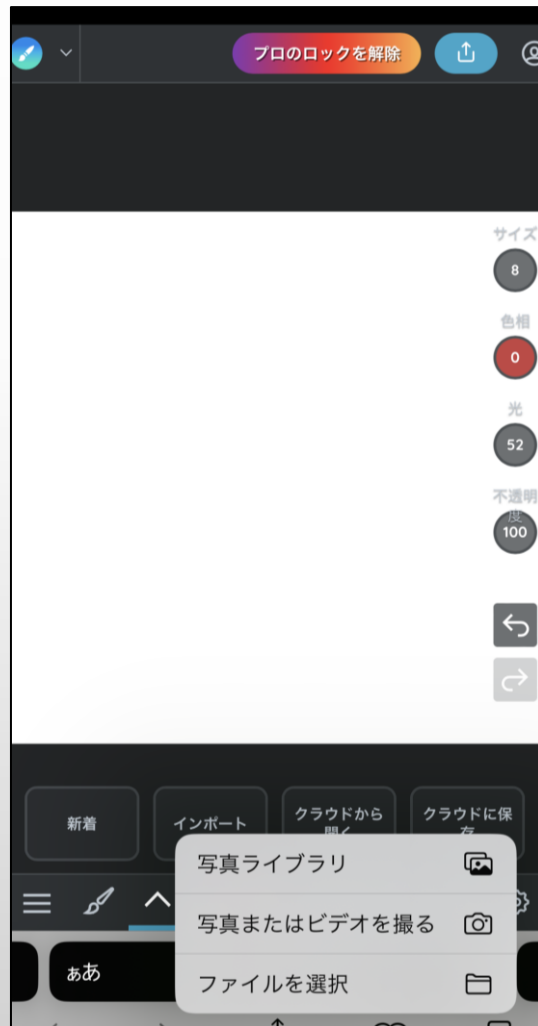
色の変更など
自由に試してみる
ことが制限されて
しまう



- **下描き**の画像取り込みができる
- **色の変更**が容易
- 多彩な**色選び**ができる

『sumo paint X』は
web上で活用できる
※インストールする必要がありません。

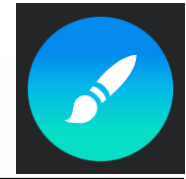
『sumo paint X』の活用



カメラで撮影、
または
画像データの
取り込みをする



『sumo paint X』の活用



塗りつぶし
の変更

簡単に色選び、色の変更
塗りつぶしができる

授業の配色計画で使われ
る色鉛筆よりも色数が多く、
何回でも色の組み合わせ
を試すことができる。



令和5年度 センター研究 音楽・図工・美術グループ

ICT活用を活用した 図画工作・美術の授業づくり

一人一台端末を使った題材例 (作品制作の補助としての活用)